



国際ロータリー第2740地区 長崎北東ロータリークラブ

2021~2022年

週報第3号

(通算2191号)

例会:令和3年7月21日



会長挨拶 浜本 義文

自動車用燃料の課税公平性 ある石油村の村民の問題提起



自動車には取得、保有、走行、それぞれの段階で9種類もの税が課せられ、ユーザーは多額の自動車関係諸税を負担しています。2019年10月1日、消費税が8%から10%へ引き上げられて以降は、自動車取得時に「消費税と自動車税」、保有段階では「自動車税、軽自動車税の種別割と自動車重量税」がそれぞれ課税されています。走行段階においても、ガソリンには「揮発油税と地方揮発油税」、軽油には「軽油引取税」、LPGには「石油ガス税」、そしてそれぞれの燃料の購入価格に消費税が課税されます。軽油は軽油引取税を除いた裸の価格に課税されます。日本自動車工業会によると、自動車ユーザーが負担する税金の総額は国、地方の租税総収入の109兆円の1割弱を占める9兆円にもあがると言われます。こうした状況の中で、菅義偉首相が2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、2035年に乗用新車販売で電動車100%にすることを表明し、とりわけ燃料課税を巡る情勢が大きく変化していくことになります。先に述べたように、石油には揮発油税、軽油引取税、石油石炭税、さらに消費税など、多種多様な税金が多段階的に課せられ、その総額は約5兆8千億にもあがります。今後、EVなどの車の電動化を進めていくということは、揮発油税や軽油引取税、石油石炭税といった石油に課せられている多額の税収を減らしていくことに他ならないことになります。石油諸税が原資となっていた道路特定財源は2008年度限りで廃止され一般財源化されましたが、道路の整備や補修などには多額の費用がかかります。全国に高速道路網が整備され、道路整備を急ぐ緊急性はなくなりましたが、誕生からおよそ半世紀が過ぎると、老朽化が進み、大規模な補修工事が必要不可欠になっていきます。ガソリン車もEV車も同じ道路を走るのに、現状ではEVの電気に対してはなんらかの税金もかけておらず、EVの普及とともに、この不公平感は大きな焦点となるとみられます。今後、ガソリンの需要減が加速的に進んでいくなかで、道路の補修、インフラ整備にかかる財源をどこから捻出していくのかというのが問題となります。ガソリン税等に代わる財源として電気税、道路使用税といった新たな税を導入するのか、それともさらに消費税を上げるのか、分かりません。そもそもEVの普及促進を図るための補助金は石油石炭税を税収とするエネルギー特別会計から捻出されているという事実を考えると、ガソリン車よりも割高なEVの普及促進を図るのは、甚だ疑問を呈します。石油やガスなどの天然資源に乏しく、自然災害の多い日本において、過度にEVを中心としたくるまの電動化を進めていくことは、国民の生命、財産を守る観点からも危うい政策のように映ります。エネルギー政策において、安定供給、経済性、環境対応

プラス安全性が大前提とされる我が国では、モビリティのエネルギー源についてもガソリンや軽油など化石燃料の使用を徐々に減らしつつ、電気や水素、バイオ燃料等、化石燃料も含めた様々なエネルギーを組み合わせた「ベストミックス」を図っていくことがなによりも重要となりますがいかがでしょうか？

【幹事報告】



幹事
西岡 克之

- 例会休会 長崎西RC 8月10日(火)
長崎北東RC 8月11日(水)
長崎出島RC 8月13日(金)

● 7月28日(水)は、納涼例会です。18時30分から寶來軒です。

● 8月4日(水)は、張本民雄ガバナー補佐とのクラブ協議会です。理事の方は、発表のご準備を宜しくお願いいたします。

● 先日、ファックスしたロータリー地球環境保全フォトコンテストですが、第2820地区が実施していることで、写真が好きな方や環境保全に関心がある方は、写真を撮って応募してみてください。締め切り8月31日(火)、応募したい写真があったら事務局員へお持ちください。

● 例会後、定例理事会です。

今後の
予定

- 7月28日(水) 納涼例会
- 8月4日(水) 張本民雄ガバナー補佐とのクラブ協議会
- 8月11日(水) 休会

ニコニコBOX



ニコニコ発表
早崎会友

浜本: 本日も先週に引き続き、クラブ協議会 活動計画発表です。理事・役員のみな様、宜しくお願い致します。例会終了後、定例理事会を開催致します。

西岡: 梅雨があげ、毎日暑いですが、皆様 体調管理をよろしく。何とか暑い夏をのり越えましょう。本日はクラブ協議会です。ご登壇の方より宜しくお願いします。

大原: 皆様の幸福をお祈り申し上げます。

草野: 浜本会長、先日はごちそう様でした。みんな楽しんでましたね! 又、宜しくお願いいたします。

辻村: 本日の活動計画発表者の方、宜しくお願い致します。

南里: 理事の皆様、先日はお疲れ様でした。浜本会長、西岡幹事、大変お世話になりありがとうございました。

馬場崎: 先週、先々週と出張しており、欠席となり申し訳ありませんでした。今年度も宜しくお願いします。

丸木: ① 浜本会長、西岡幹事、長崎北東ロータリークラブの新しい出船おめでとうございます。今期のご活躍、期待しております。② 都合により2週続けて欠席しましたが、今期もより宜しくお願いします。

宮口、東: 昨日、35度をこえたそうです。熱中症に気をつけ、こまめに水分補給をしましょう。

森(正): みなさん お疲れ様です。2021~2022 ゴルフ同好会の幹事となりました。右も左もまだわかりませんが、頑張りますのでよろしくお願い致します。

森(義): 理事会の家庭集会に参加の皆さん お疲れさまでした。美味しい食事と楽しい2次会、浜本会長 ご馳走様になり、有難うございました。

山口: 令和3年7月14日(水曜日) 18時30分からの“長崎北東ロータリークラブ新年度理事・役員懇親会の開催”。今期、浜本会長・西岡幹事の“料理が美味しかった一次会”“楽しかった二次会”の企画も、おごちそうになりたいへんお世話になりました。本年度、“会の進行”何かと大変だと思いますがよろしくお願い致します。『せめてニコニコ入れさせていただきます。』

小計: 13名/¥44,000

累計: 37名/¥93,000

公共イメージ部門



理事 西村 敏洋

公共イメージ部門です。メンバーは副理事に猪股会友、委員に東会友の計3人の少数精鋭の構成になります。本部門は設立5年目に入ります。ロータリー戦略計画の優先事項の中に「公共イメージと認知度の向上」が上げられ、今、最も国際ロータリーとしても力を入れている分野です。我々が感じている以上に社会のロータリーへの認知度は低いものがあります。昨年度はコロナウイルスの影響によりさまざまなイベントが中止となりました。本年度も厳しい状況が見込まれる中、コツコツと、まずは①ロータリーとは何か？②ロータリアンとはどのような人か？③ロータリーとはどのような活動をしているのか？を広く世間の人々に知っていただくように、会友皆様のご協力が不可欠となります。ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。そのよう中で、まずは①のロータリーとは何か？と言われて自問自答しました。即答できませんでした。そこで2年前の10月の例会後に開いていただいた勉強会の際に岩永信昭会友にいただいた「ロータリー、その歴史、哲学、理論」の資料により、超私の奉仕＝最もよく奉仕するもの最も多く報いられる。と言うこと。②ロータリアンとはどのような人か？に関しては「四つのテスト、言行はこれに照らしてから」なのかなと。③のロータリーとはどのような活動をしているのか？は一言でお伝えするとなれば、まさに奉仕活動かなと思っています！



委員長 木村 敏洋

クラブ会報委員会 クラブ会報を定期発行することにより、当クラブ会員に対し当クラブの活動状況及びクラブ会員の近況報告等を案内し会員相互の情報共有化を図り、クラブの親睦と発展に寄与する。(活動内容)①例会開催の週は会報を作成し、会員に配布。②掲載内容については、下記の通りクラブ活動状況報告を主体とする。但し、会員の要望等により随時、特記情報等を掲載することもある。(1)会長挨拶(2)幹事報告(3)委員会報告(4)来訪者・ゲストの紹介(5)会員の入会・退会の紹介(6)会員の誕生日・結婚記念日・入会記念日・表彰等の紹介(7)卓話の掲載(8)その他 会報は基本A4版の表裏2頁とする。記事記載については提出原稿を元に編集します。

代読 西村 敏洋 **広報・雑誌・資料委員会** (委員長 前田 秀樹) ロータリークラブの存在・存在価値・活動内容のアピールをどう行うか。最近、新聞・TVのマスコミ関係に加え、「SNS」という誰でも入手可能な情報ツールがあります。一歩間違えば、恐ろしい程の逆効果にもなりますが、使い方次第では、多くの方々にロータリークラブという団体を認知いただける、最高の情報ツールにもなります。本委員会の主な活動は、従来通りのクラブHPの拡充及び、新聞・雑誌・TVを含むマスコミ関連への提案になりますが、「SNS」での発信方法についても本委員会にて協議する機会を語り、本年度だけではなく、今後を見据えたアピール方法も検討するべきと考えております。会友の皆様、一年間ご協力よろしくお願い申し上げます。

ロータリー財団部門

(理事 猪股 賢一郎) ロータリー財団は、代読 辻村 栄蔵 会友の皆様もご承知の通り、1917年に「全世界的な規模で慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で何かよいことをしよう」という目的をもって設立されました。それから現在までいろいろな活動を行ってきましたが、このコロナ禍の中で社会構造も大きく変化しており、このロータリー財団の仕組みや役割を再認識しながら情報発信を強化して、目標達成に向けた活動を行います。①ロータリー財団への年次寄付目標 一人当たり150ドル/年間 ②ポリオ根絶活動への支援目標 一人当たり 30ドル/年間 ③財団の活動全般について、卓話等により理解を深める事業を行う。このような取り組みの中で本年度も例年同様をお願いをいたしたいと存じます。会友の皆様におかれましては、コロナ禍の中、そして、出費多難のおり、誠に申し訳ございませんが、100ドルの寄付をお願い致します。例年同様、来年1月に口座振替にて対応させていただきます。尚、賛同しかねる会友の皆様は、辻村か猪股までご連絡下さい。以上、ロータリー財団部門の活動計画発表を終了させていただきます。

奉仕プロジェクト部門



理事 辻村 栄蔵

本年度、奉仕プロジェクト部門の理事を拝命しましたが、世界的コロナ禍においては、これまで以上の難しい活動とされますが、ロータリーの奉仕哲学は、次の5部門の職業奉仕、社会奉仕、国際青少年交換、米山記念奨学、青少年奉仕について、今年度も着実な活動および成果を得ることが大切だと思います。奉仕プロジェクト部門としては、各委員さん方々の積極的且つ、自主的活動を基本としながらも、会友皆様のご協力も得ながら、より良い成果が得られることを期待したいと願っています。



委員長 東 義隆

職業奉仕委員会 ロータリーの職業奉仕は、あらゆる職業を尊重し、ロータリアン一人一人の職業を社会に奉仕する機会として重んじる心に基づいているものだと考えています。職業奉仕活動に各自が責任を持ち 自分の職業や仕事上のネットワークをロータリークラブの活動とリンクして、活動していきたいと思ひます。皆様のご協力をよろしくお願い致します。



委員長 鬼塚 洋一

社会奉仕委員会 社会奉仕はすべてのロータリアンが、地域の人々の暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することを目標としています。奉仕活動を通じ、外部の方々との交流や生活の質を高めるための卓話例会を計画し、会員皆様と一緒に取り組んで参ります。今年度の大きな活動は2件計画しています。1. 第2740地区 ロータリー奉仕デー 環境美化プロジェクトへの参加 具体的には、9月12日(日)、環境美化プロジェクトに参加するものです。実施内容は今後詳細を詰めて、実施日前に報告致します。ロータリー財団管理委員会と国際ロータリー理事会は、環境という新たな重点分野を追加しました。従来の重点分野、①平和構築と紛争予防 ②疾病予防と治療 ③水と衛生 ④母子の健康 ⑤基本的教育と識字率向上 ⑥地域社会の経済発展、6つの重点分野に 昨年度より、⑦環境の保全と保護、が導入されたものです。日本ロータリーの全国のロータリアンが一致団結し環境保全事業に取り組む。社会奉仕活動を通してロータリーの公共イメージと認知度を向上させる事を、目的として、環境保全統一事業への参加協力依頼を受けています。2. 職場訪問活動として、長崎市消防局での防災体験学習を計画しています。今年も熱海の土石流災害他、全国で大きな災害が発生しています。避難、連絡、通報、頭では理解していても実際その状況になると体が動かないということも想像できます。初期消火・煙避難・暴風他、体験し命の安全を確保することに繋がればと考えています。



委員長 宮 康二

国際青少年交換委員会 2004年度以降、国際青少年交換の実績はありません。今年度は、コロナウイルス流行の終息を待って、実現に向けて取り組みたいと思います。ご協力を宜しくお願いいたします。



委員長 東 義隆

米山記念奨学委員会 公益財団法人ロータリー米山奨学会は、日本のロータリーが共同で運営する奨学財団で、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行っています。事業の使命は、将来日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材育成することです。奨学会への寄付は例年通り、厚く、広く行っていただければと考えています。皆様のご協力をお願いします。



委員長 三原 英樹

青少年奉仕委員会 ロータリアンとして、年齢30歳までの若い人すべてを含む青少年の多様なニーズを認識しつつ、より良き未来を着実なものとするため、健康、人間の価値、教育自己開発に関わる支援活動を展開していきます。コロナ禍の中で人と人が接する活動の機会が制約されている中ですが、スポーツを通じ、オンラインだけでは習得出来ない活動を行い、将来地域のリーダーとなるべき人材育成を支援できればと考えています。本年度予定している事業 ●時津町剣道大会後援 ●長崎北東ロータリークラブ杯 少年ソフトボール大会 ●長崎北東ロータリークラブ杯 長崎県高等学校ラグビー大会三地区対抗戦



司 会 / 井口 盛博



写真撮影 / 安田 智明

創 立 / 昭和49年4月30日
承 認 / 昭和49年5月22日
例会日 / 毎週水曜日 12:30~13:30
例会場 / 長崎新聞文化ホール「アストピア」

事務局 / 長崎市目覚町8-11-301
TEL843-6635/FAX845-9411
URL <http://nerotary.org/>

本日のメニュー



	全員総数	Home Club 出席数	Home Club 欠席数	Make-up	免除者	修正出席率	出席率
7月7日	39	30	7	0		81.1	
7月21日	39	27	10		2		73

月間出席率	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
前年度	82.1	81.3	81.3	74.4	77.5	78.4	82.2	83.6	0	78.4	80.1	84.2
本年度	81.5	79.5	81.8	78.6	74.3	76.3	0	0	81.6	81.1	0	85.3